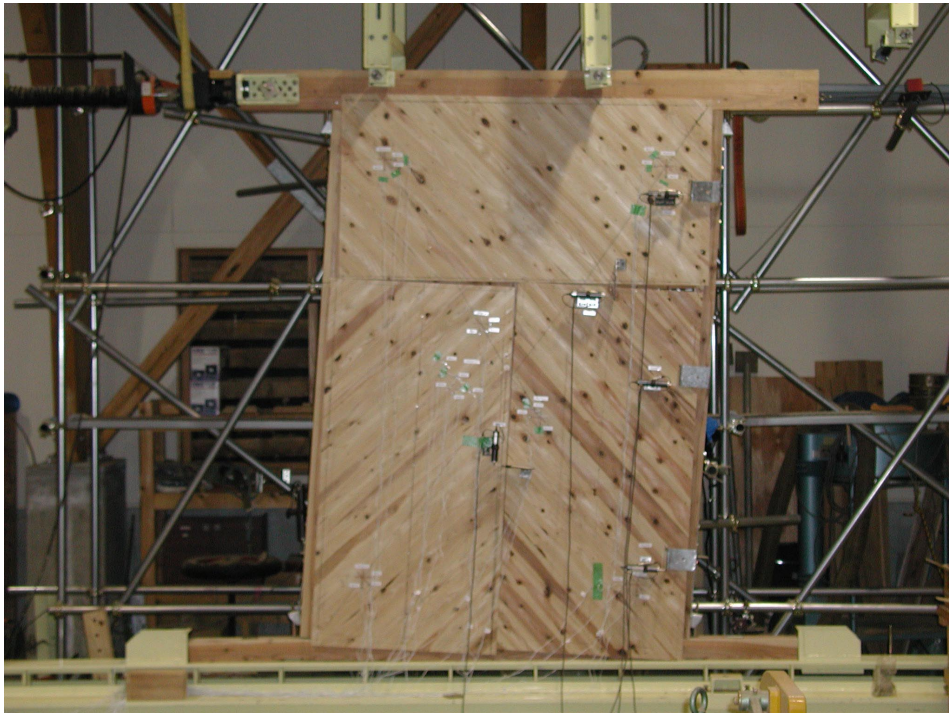
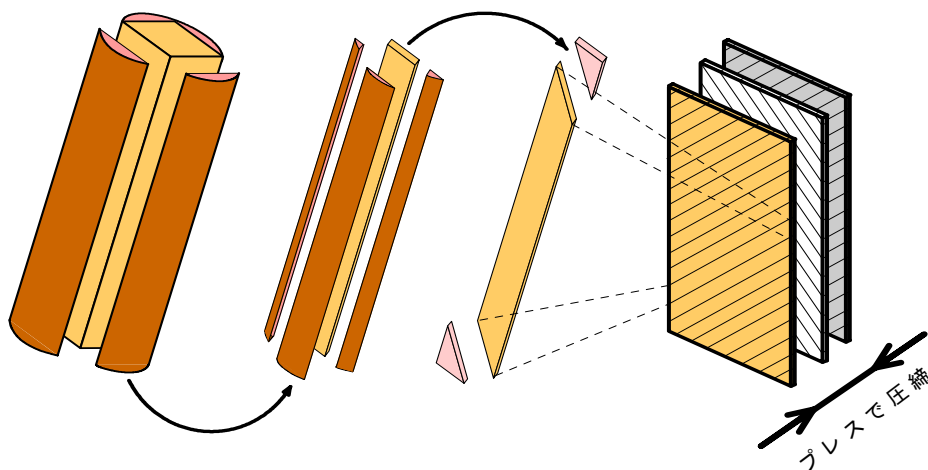


スギ3層^{エックス}積層ボード



スギ3層Xボード耐力壁の試験

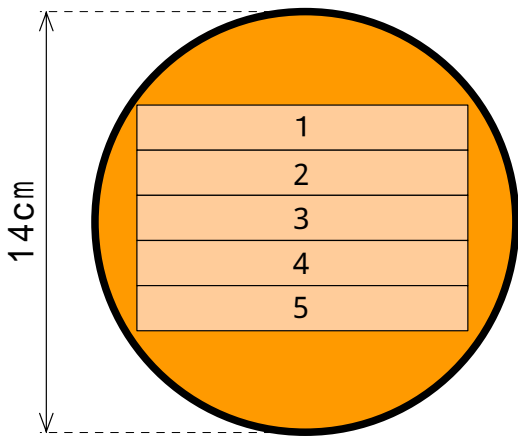


製造工程例 背板からの製造

特長

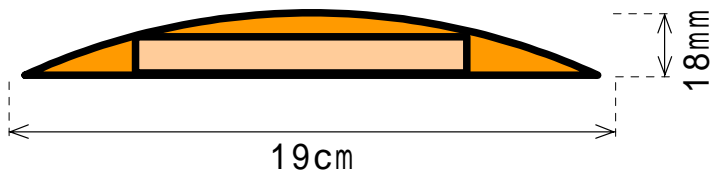
1. 部材は、幅 10cm、厚さ 8mm で、背板からも採材可能
2. ボードの強度を、部材の密度で管理
3. スギ3層X積層ボード使用の壁は、壁倍率の係数4を達成

部材の採取



標準仕様の場合、使用する部材は幅10cm、厚さ8mmのため、背板、挽き板、等級外ラミナ等からの採取が可能である。

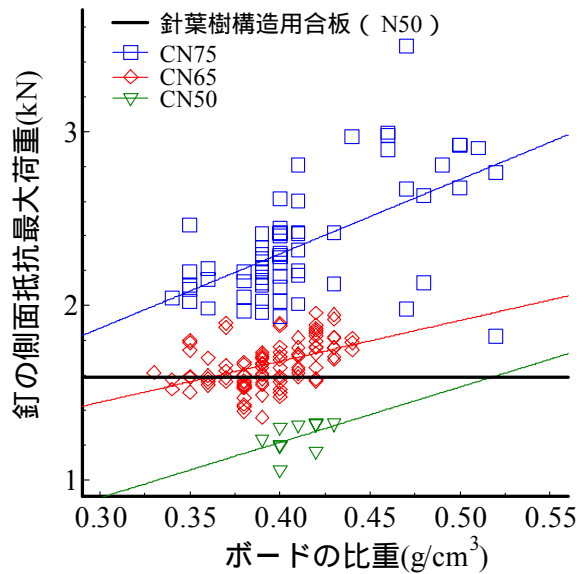
直径14cmの丸太から5枚の部材が採取可能で、また、下図のような背板からも部材が採取可能です。



釘とボード密度

スギは柔らかいため、釘の保持力が低くなりがちですが、スギ3層×積層ボードでは、密度と使用釘を考慮する事で針葉樹構造用合板と同程度の釘保持力を持たすことが出来ます。

スギ3層×積層ボードは厚さが24mmあるため、CN65(以上)の釘を使用して下さい。



耐力壁にも使用可能

構造特性値 (kN)

	試験体 No.1	試験体 No.2	試験体 No.3	平均	標準偏差	変動係数	ばらつき係数	短期許容せん断耐力	壁倍率
Py	16.83	14.49	14.89	15.40	1.252	0.081	0.962	14.81	4.2
Pu	18.88	14.13	14.88	15.96	2.554	0.160	0.925	14.76	4.1
P2/3	20.79	17.68	17.80	18.76	1.762	0.094	0.956	17.93	5.0
120P	17.80	14.31	15.51	15.87	1.773	0.112	0.947	15.04	4.2

Py: 降伏耐力 Pu: 終局耐力 × (0.2/Ds) P2/3: 最大荷重の 2/3 120P: 120rad 時の耐力

スギ3層×積層ボードは、住宅の耐力壁に使うことも可能です。

使用した場合の壁倍率の係数は、構造用合板の2.5を上回る4.0になりました。

本研究に対する問い合わせ先

石川県林業試験場 木材加工科
石川ウッドセンター
TEL 0761-93-1873 FAX 0761-93-5234
E-mail iwcc@pref.ishikawa.jp